

# 第44回全国中学生人権作文コンテスト

## 中井の中学生が神奈川県大会銀賞入賞

法務省と全国人権擁護委員連合会主催による全国中学生人権作文コンテスト神奈川県大会において、県内69、499編の応募の中から中井中学校三年生の加藤愛夏さんが銀賞に選ばれました。

全国中学生人権作文コンテストは、次世代を担う中学生の豊かな人権感覚を養うため、昭和56年から実施されており、今年度で44回目となります。入賞された加藤さんには横浜地方法務局より表彰状が贈呈され、2月24日に町人権擁護委員の関野常務より伝達が行われました。

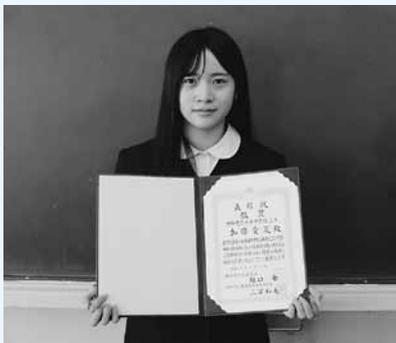
「言葉の奥にあるものを、見ようとした日」（一部抜粋）

中井中学校 三年 加藤 愛夏

人権って「誰もが同じように尊重されるべきだ」ということ。国籍も見た目性別も宗教も、自分と違うからといって下に見る、ということとは、あつてはならないことだと思う。でも今この世界では、こういう差別や偏見が想像を絶するほど存在している。

私は将来、たとえどんな道に進んだとしても、「当たり前」を疑える自分でいたい。誰かを見下したり、思い込みで判断したりせず、目の前の人の言葉や想いにちゃんと向き合える人間でいたい。

「優しさ」は、ただ人にやさしくすることじゃない。誰かの考えが違っていたとき、すぐに突き放さず、どうしてそう思ったのかを考えようとするこゝそれらもまた、もう一つの優しさではないのか。



問合せ

福祉課 ☎(81)5548



人権イメージキャラクター  
人KENまもる君

そもそも…

人権ってなんだらう？

「人間が人間らしく生きていく権利で、全ての人が生まれながらにして持っている権利」です。

互いを思いやり、自分の人権も相手の人権も大切に守りながら、ともに幸せに暮らせる社会を築いて行きましょう。



一人ひとりが人権について知識を持って、人権を大切に  
する意識を持つことが重要！